

としょえもん

2016年度(平成28年度)

第2号



編集・発行：八王子市学校図書館サポートセンター

「調べる力」を育てる～調べることで「生きる力・考える力」を育む

国では、新しい時代を生きる子どもたちに必要な資質・能力を育むために、知識を習得することだけでなく、得た知識を活用した問題の発見・解決に向けた主体的・協働的な学び「アクティブ・ラーニング」の視点から授業改善について提言しています。今、八王子市では、「アクティブ・ラーニング」の視点を生かすため、学校図書館を活用した調べる学習を推進しています。



8月2日 南大沢会場での調べ学習体験講座
南大沢図書館の本を使って調べました。

公共図書館と学校図書館の連携について

図書館部長 伊比 洋司

4月から図書館部長になりました、伊比洋司と申します。よろしくお願ひいたします。

さて、「活字離れ」・「本離れ」が大きな問題となる近年、私たち図書館部は、まず、読書習慣を身に付けてもらうため、ブックスタート事業や読み聞かせの機会提供に取り組んでいます。

更に、小学生・中学生についても、この習慣が維持されるよう、学校と協力し、読書環境の充実に取り組んでいくことが重要と考えています。

図書館から学校への資料貸出実績は、この5年間で、3倍に伸びており、学校との連携の大きな進展と受け止めています。

また、ここで更新を予定している市立図書館システムについても、より学校図書館との連携が強化できるものとして行きたいと考えております。学校間の情報連携や様々な統計資料、また、児童・生徒が興味を持って使える画面設定など、実際に使われる皆様の意見をお聞きし、より使い勝手のよいシステムを構築し、読書活動の推進に努めてまいります。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

図書時間を活かした取り組み

〓元八王子小学校 図書時間〓

学校司書が勤務する曜日に図書時間がある4年生のクラスでは、最初の10分位、読み聞かせや図書館クイズ、本の紹介などを行っています。何を言うかは、担任の先生と打ち合わせを行い決めています。

「川調べの学習を行うので、川の生き物・植物などが調べられる図書のある場所と紹介を」「分類を学べるクイズやワークを」「季節にちなんだ本の読み聞かせを」「新着本の紹介を」などです。

先日は先生が教室で『ルドルフとイッパイアツテナ』を読み聞かせていることから、『ルドルフ』シリーズの本を紹介しながら、「おもしろい名前」というテーマでブックトークをしました。『ルドルフ』シリーズの他に『番ネズミのヤカちゃん』『がんばれヘンリーくん』『言葉図鑑⑩』『王さまと九人のきょうだい』です。

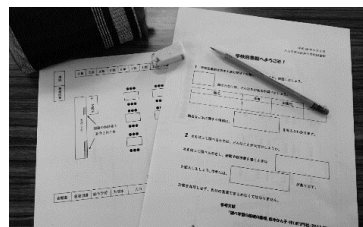
また、他の日には、教育実習生と二人で「あらしのよるに」シリーズの『あるはれたひに』を読み聞かせました。「あらしのよるに」シリーズは実習生も世代的に親しみがあり、家に全巻持っていることでした。教員と学校司書が日頃から読書についての話をするのが、図書時間をより有効なものとするために必要であると感じます。

いま、

オリエンテーションから調べ学習へ

〓由井中学校

由井中学校では今年度に入って、図書委員会が作成したしおりの配布や※味見読書など、生徒の読書活動推進のために多くの取り組みをしてきました。中でも印象に残っているのは、年度始めに一年生を対象に行ったオリエンテーションです。



日本十進分類法や著作権について説明をすると、メモを取ったり、館内案内図を広げて興味がある分野の棚に印を付けたりする生徒も見られました。

また後日、高尾山校外学習の事前学習で来館した際には、背表紙に記された請求記号を見ながら本を書架に戻す生徒が多くいて、分類を理解してもらえたことがわかりました。(写真はその時のワークシート)

本校は、昨年度に比べて貸出冊数が倍になりました。これも様々な取り組みの成果と考えます。特に、一年生の利用が多く、今日も昼休みが始まるとすぐ、物語や数学など気に入った本を借りていきました。

※味見読書・熊倉峰広氏考案の読書法。食べものの味見のように何冊かを少しのページずつ読む。

調べ学習体験講座



学校司書も一緒に図書館で本を探しました。

八王子市教育委員会では、学校での調べ学習を推進する一助として、夏休みの期間中、市立図書館4館を会場に「調べ学習体験講座」を実施しました。講師は市立中山小学校教諭の宮本先生、アシスタントには学校司書やボランティアが参加し、児童それぞれが気になる疑問の答えを探す時間を過ごしました。

学校とは異なる環境の中、始めのうちは緊張の面持ちだった児童も、司書の声掛けや図書館での本探しを進めるうちにのびのびと作業を進めていきます。短時間で作品を仕上げるというプログラムには、今後の課題も残りましたが、「自由研究が終わった！」「楽しかった」「またやりたい」という感想を残し、大切そうに作品を持って帰る児童の姿を見ることができました。

夏休み明けの学校で掲示された作品もあるそうです。「調べる楽しさ」を体感し、新たな調べに挑戦する人が増えることを願っています。

学校図書館では

朝の10分ブックトーク

～浅川中学校 朝読書の時間～

浅川中学校では毎朝8時半から10分間、朝読書を行っています。昨年からは学校司書がその時間に順番でクラスを巡り、*ブックトークをしています。6月には1年生に向けて本の成り立ちについて説明しました。これは調べ学習に使うツールを深く知ってもらおうの目的としたものです。

説明は「紙ができる前の人類はどのようにして情報を伝えていたか」から始まり、巻物や折本などのレプリカを見てもらいながら最終的に目次や索引、奥付がなぜできたのかで終わります。生徒が目キラキラさせて聞いてくれたのが印象的でした。また、この月は美術の先生からの依頼で、夏休みの宿題である読書感想画を描くにおススメの本のブックトークも行いました。その後、紹介した本を学校図書館に展示して手に取りやすくしました。学校図書館に興味をもってもらえるように、本で調べてみようと思ってもらえるようにと考えながら毎週楽しく活動しています。



*ブックトーク…あるテーマを設け、それに関連する複数の本を順序立てて紹介すること。

知りたいことを調べよう

～中山小学校3年生 国語の授業から

3年生の先生から『里山は、未来の風景』の学習で、「児童がもっと知りたいと思ったことを調べにいきます。」と学校司書にお話をいただきました。教科書を見ると「図書館の案内図や本の分け方を手掛かりに本を調べよう」と説明があります。そこで、図書館の案内図と、一番探すことになるだろうと思われる自然科学(4類)の分類表を班で1枚ずつ利用できるように用意しました。

すでにオリエンテーションで簡単な分類の説明をしていたので、「自分の調べたいことがありそうな分類番号を予想して、案内図を見て本を探しましょう」と話しました。本を見つけられた児童が最初のページから見ていたの



で、目次を見たり、索引で探したり、百科事典も引いてみたりと、やりながら調べ方を説明しました。「分からない言葉がでてきた」ときいてきた児童には、「それも調べよう」と声をかけると、頑張つて取り組んでいました。こうした経験を繰り返すことが調べる力をつけていくのだと思います。

給食×図書コラボ

『おぼけのてんぷら』

(せなけいこ作/ポプラ社)



栄養士さんと学校司書が協力して行うコラボ給食。今年は「*はちおうじ読書の日」に合わせて市内一斉に行われました。各学校では本に登場するおいしそうな料理が登場、献立はてんぷらです！絵本『おぼけのてんぷら』の読み聞かせや関連図書の展示、また食育に関するお話などが行われました。

当日は、安間教育長が柵田小学校を訪問し、大型絵本の『おぼけのてんぷら』を読み聞かせし、その後2年生の子どもたちと給食でてんぷらを味わいました。



*「はちおうじ読書の日」は、市制90周年にあたる平成18年に文字活字文化の日として国が制定した10月27日を、読書週間の始まりの日として制定されました。

学校図書館の窓から～学校司書のおすすめ本

『イヌのいいぶんネコのいいわけ
イヌとネコにともだちになってもらう本』

なかのひろみ文

植木裕幸写真／福田豊文
写真／福音館書店



人間と一番仲良しの動物
といえばイヌとネコ。でも、
彼らと言葉をかわすことが
できないので意外と気持ち
がすれ違っているかもしれません。この本は、
イヌやネコの仕草を理解してもっと仲良くなり
ましょうという本です。かわいい写真がいっ
ぱい。前から読んで後ろから読んで楽しめる
おもしろい構成にも注目です。

『RDG レッドデータガール』1巻～6巻
荻原規子／角川書店(角川文庫)

山深い神社で暮らしていた泉水子(いずみ
こ)が、昔なじみで山伏修行中の深行(みゆき)
と、東京の高校に進学しました。

レッドデータとは絶滅危惧種を指す言葉で
す。泉水子の生い立ちや家系
の謎が明らかになるにつれ、R
DGの意味もはっきりしてきま
す。高校は高尾山の北側にある
設定で、文中に高尾山や八王子
城址が登場します。



読書の秋が終わっても「読書の旅へ出かけよう！」

<http://www.city.hachioji.tokyo.jp/kyoiku/47129/29397/039711.htm>

平成27年6月に行われた「第61
回全国学校読書調査報告」(雑誌『学
校図書館』NO.781掲載)によると、児
童生徒の読書推進の取り組みの上位
に「全校一斉読書」「読書行事(校内
読書週間などの取り組み)」が上がっ
ています。しかし、小学校で子ども
たちに読書の習慣をつけるために大
きな効果をもたらしているのが「保
護者の協力」であることも明らかに
なりました。読み聞かせや家庭での
読書に親しむ環境づくりや声掛け
に、皆様のご協力をお願いします。
毎年恒例となった「学校司書がお
すすめする本」のリスト『読書の旅
へ出かけよう!』も八王子市ホーム
ページから見ることが出来ます。ご
家庭でも本を探してみませんか。

学校図書館ボランティア研修会 次回予告

第3回 平成29年1月18日(水) 学校図書館ボランティア活動交流会

会場は教育センター、詳細は追って学校からお知らせします。

グループごとに分かれ、「他の学校のボランティアさんはどんな活動をしているの?」「こんなことをやっています」「お悩み解決の糸口」など、自由な交流の場を開設します。ふるってご参加ください。

第2回学校図書館ボランティア研修会

11月25日(金)に開催しました。

4講座に合計138名が参加、それぞれの活動に役立つテーマを選んでいただき、実習を行いながら学校間の交流を深めることもできました。



冬の展示装飾に取り組むみなさん



百年の彩りを
次の100年の輝きへ

発行日：2016(平成28)年12月1日

問い合わせ先：八王子市学校図書館サポートセンター

八王子市教育センター(八王子市散田町2-37-1)内

電話 042-664-1135/ファックス 042-662-2988